【草花の部屋】

グラジオラス（アヤメ科グラジオラス属　Gladiolus）

和名：グラジオラス

別名：トウショウブ(唐菖蒲)、オランダショウブ(阿蘭陀菖蒲)。

英名：Gladiolus、Sword lily

キジカクシ目　非耐寒性球根　　原産地：アフリカ、地中海沿岸

花言葉：用心深い、楽しい思い出、たゆまぬ努力

花色：白、桃、赤、黄、橙、青、紫、緑、複色

←↘ 写真-１、２　グラジオラス
撮影日：2020 年 04 月 19 日
撮影場所：大和郡山市郊外にて
撮影者：M　さん

← 写真-３　グラジオラスの花弁
撮影日：2020 年 04 月 19 日
撮影場所：大和郡山市郊外にて
撮影者：M　さん

大和郡山市郊外にある家庭菜園の一隅に咲いていました

グラジオラスは、アヤメ科グラジオラス属の植物の総称で、日本には自生種はなく、園芸植物として植えられているそうです。原種は 300 種ほど存在するそうで、日本には明治時代に輸入され、根は湿布薬の材料に使われるそうです。

名前は古代ローマの剣であるグラディウスに由来し、葉が剣に類似していることからだそうです。

花は内側の花弁を 3 枚(内花被片)、外側の花弁を 3 枚(外花被片)持ち、花弁はラッパ状に開きます。中央には 3 本の雄蕊と、雌蕊が 1 本あります。

グラジオラスには最初に雄蕊が成熟し、その後雌蕊が成熟する雄性先熟の性質があります。未熟な雌蕊は上を向いており、雄蕊が成熟した後に垂れ下がって先端が 3 裂します。

グラジオラスは大きく、「夏咲き」と「春咲き」の２タイプがあり、夏咲きは夏から秋にかけて開花し、春咲きは春が開花期になります。普段、よく目にするのは、春に球根を植える夏咲きのタイプです。

グラジオラスの罹りやすい病気にはモザイク病、害虫にはハダニがあります。ハダニは夏に出やすい害虫で、葉の裏について植物の栄養を吸って弱らせます。たくさん出るとやっかいなので、早めに薬剤を散布して駆除します。

＜ちょっと一言＞

＊雄性先熟(ゆうせいせんじゅく)

両性花で雄性が先に熟して現れる植物を雄性先熟といい、自家受粉を避けるための植物の仕組みです。

例：ネムノキ、キキョウ、リンドウ、ゲンノショウコ、ヒメフウロ